

平成31年度事業計画

1. 基本方針

我が国は、少子化による人口減少と高齢化率の上昇が大きな社会問題となっていますが、新ひだか町においても少子高齢化の影響や転出、転居での流出により減少傾向に歯止めが掛かっていません。

センターへの新規入会者数も年々少なくなっていますが、その他の要因として官庁、企業等の雇用の延長や人手不足による労働力年齢の上昇も影を落としていると思われます。

シルバー事業は、地域の日常生活と密接に結びついており、働く意欲のある高齢者の社会参加への推進や健康増進による医療費の削減、生きがいの充実づくり、個々の能力・技能を活かした就業を通しての社会生活の手助けなど活力ある社会づくりに寄与しています。

これからの超高齢化社会における「生涯現役社会」の実現に向かってシルバー人材センター事業の重要性を再認識し、「自主・自立、共働・共助」を基本として、会員の入会促進、一層の就業機会の確保と高齢者世帯数の増加などに迅速に対応するため広報活動等を進めながら、シルバー派遣事業の拡大とボランティア活動による地域への貢献など引き続き積極的に取り組んでまいります。

2. 事業実施計画

(1) 会員の入会促進

- ①チラシやパンフレットの配布、配置を行い新会員の増強に努めます。
- ②役職員、会員による「ロコミ」運動を展開します。
- ③町広報誌、地方紙への広告掲載やセンター会報を通してPRに努め、会員獲得を図ります。
- ④事務所前に「新会員募集中」の幟旗を掲示し、入会促進に努めます。
- ⑤入会を希望する方に随時説明会を行います。
- ⑥会員互助会や同好会活動を紹介し、入会促進を図ります。

(2) 就業機会の拡大と派遣事業の推進

- ①就業の機会を確保するため、企業、団体等との情報交換に努め、仕事の発注を要請します。
- ②役職員と会員一人ひとりが地域のニーズを把握し、就業の確保に取り組みます。
- ③連合会と連携して実施する派遣事業を継続して推進し、新たな就業先の確保に努めます。
- ④チラシやパンフレットの配布、広告掲載等を通して派遣就業を含め、就業機会の拡大を図ります。

(3) 事業の普及啓発・広報活動の推進

- ①「シルバーだより・新ひだか」を発行し、事業の紹介と普及に努めます。
- ②会員、賛助会員はもとより、団体、企業に配布し、普及啓発を推進します。
- ③町広報誌と地方紙への情報提供、広告やセンター事業の記事掲載を通して普及啓発、広報活動に努めます。
- ④チラシやパンフレットの配布を行い、事業の普及啓発を推進します。
- ⑤事業の普及啓発に向けて、ボランティア活動を行い、併せて公共施設等の環境美化に取り組みます。
- ⑥センター事務所前やボランティア活動時に幟旗を掲示して、事業の普及啓発を行います。
- ⑦ホームページを活用した情報発信による普及啓発に努めます。

(4) 安全就業対策と事故防止の強化

- ①安全委員会を開催し、安全就業対策を検討します。
- ②就業途上の交通事故防止、就業中の事故防止を図るため、安全委員会、事務局一体となって、安全パトロールを定期的に実施します。
- ③安全保護具の着用徹底と就業現場の安全確認の点検強化を進め、事故防止に努めます。
- ④「安全就業中」の幟旗を掲示し、事故ゼロを目指します。
- ⑤健康管理や健康診断の受診を奨励し、熱中症予防などの対策について会報、講習会、研修会等において注意喚起を行います。
- ⑥シルバー人材センター団体傷害・賠償責任保険や熱中症見舞金制度に継続して加入し、万一の事故に備えます。

(5) 知識・技能とマナーの向上

- ①会員の知識・技能・技術の向上を目的に各種講習会、研修会を開催します。
- ②剪定、機械除草など職種ごとの技能講習会を開催し、人手不足分野における後継者の育成に努めます。
- ③信頼される就業を目指し、あらゆる機会を通してマナーの向上を啓発します。

(6) 会員交流と互助会活動の支援

- ①会員互助会が行う相互の交流と親睦を深めるための各種同好会活動や行事について、円滑な運営が出来るよう引き続き協力、支援を行い、センターの活性化に努めます。

(7) 組織体制の充実と関係機関との連携

- ①理事会や専門部会、安全委員会を開催し、組織の充実活性化に努めます。
- ②上部団体が主催する各種講習会、研修会、ブロック会議等に参加し、職員の知識や資質の向上を図ります。
- ③新ひだか町をはじめハローワークや全シ協、道シ連、道内各センターと連携し、情報の共有を図りながら、円滑な事業の推進に努めます。